

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

3月定例会では14人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※3月定例会の会議録は6月に発行予定です。



専用アプリで読み取ると議会中継がご覧いただけます。

ごみ処理 燃やせないごみ処理の現状 と広域化について

江川 直一
(公明党)

問 燃やせないごみ処理の現状と広域化について

答 ごみ処理広域化は、建設から将来にわたり市民負担と環境負担が少なくなることを望まれる。国は、環境負荷の軽減、地球温暖化対策の推進のため、要件を満たすものを交付金の対象としている。また、ビニールやプラスチックごみの海洋汚染が問題になっている中、環境への配慮は必須である。そこで本市の現状と今後について問う。

問 現在の燃やせないごみの処理方法は。また、処理費用はいくらか。

答 燃やせないごみは、粗大ごみとともに破砕され、可燃物と不燃物、鉄分などに分類され、不燃物は県の最終処分場で埋め立てられる。処理費用は粗大ごみと合算で約1億3千万円である。

問 広域化により、プラスチック等の処理はどのように変わるのか。

答 組合ではプラスチック再資源化施設を建設する計画で、ペットボトルを含めたプラスチック製容器包装等を分別収集することで、ごみの減量化と再資源化を推進し、環境負荷の軽減を図る。

問 広域化により、燃やせないごみの処理費用は減るのか。

答 現在、燃やせないごみと燃やせないごみの処理費用の合計は年間約3億9千万円である。広域での施設維持管理費の本市負担額は約2億6千万円であり、約1億3千万円減ると試算されている。

●特定健康診査

問 現在は健康診査を聞くためにも受診が必要で負担となっている。健康診査結果は郵送できないか。

答 国の省令に従い、直接受診結果の説明を行っているが、今後、他市の状況の調査・検証を行う。

産業基盤整備 若小玉地区における産業団地の整備について

吉野 修
(黎明21)

問 本市と埼玉県企業局が平成30年度から連携して取り組んでいる産業団地整備の進捗状況は。

答 現在、市では関係機関との調整や地権者との用地交渉を進めており、約8割の地権者と土地売買契約が締結されている。また、企業局では環境調査や地質調査などを実施し、2月4日からは産業団地へ進出を希望する企業の募集を始めている。

問 来年度以降の予定は。

答 企業局では、平成31年度から32年度にかけて周辺整備工事や造成工事に着手し、平成33年度に企業への土地引渡しを予定している。本市では引き続き地権者との用地交渉を進めるとともに、都市計画の変更手続きや関係機関との調整を進めていく。

問 エントリー方式とはどのような方式か。

答 産業団地に立地を希望する企業と意見交換を重ねながらオーダーメイドで区画を販売する方式で、企業の様々なニーズに柔軟に対応することで、魅力ある産業団地を整備することが可能となる。

問 新方式の利点は。

答 整備計画の作成時点においてエントリー企業を決定するため、立地を検討する企業は造成期間中に施設設計が可能となることから、スピーディーな操業が可能となる。

問 募集の対象企業は。

答 企業局の募集要領では、製造業、運輸業又は卸売業の用に供する建築物を建設し、操業する企業としている。本市としては地元企業を優先するとともに、人口減少対策として、多くの雇用が見込まれる製造業などの企業を誘致できるよう引き続き要望していく。